

令和5年度 府立学校人権教育研修A 実施要項
(人権教育総論、同和教育)

2089

- 1 目的 部落差別解消推進法を踏まえ、差別の解消に向けて、同和教育をはじめとする人権教育の現状と課題について理解を深めるとともに、差別をなくす上での学校の役割、同和問題に関する校内研修及び人権学習の在り方についての認識を深め、人権が尊重された学校づくりについて考える。
- 2 対象 府立学校の人権教育担当者 ※各校(課程別)1名以上
 ・所属校において1年目の主担者は必ず受講すること。
 ・受講申込時に、コメント欄に第2回の希望コースを入力すること。

3 日時等

回	日時		主題等	講師等
1	リアルタイム開催 5月22日(月) 14:00~17:00		大阪府における人権教育の現状と課題 部落差別の現状と同和教育 〔講義・講演〕	大阪府教育庁 指導主事等 大阪公立大学 教授 阿久澤 麻理子
2	a コース	7月3日(月) 14:00~17:00	同和問題に関する人権学習の具体的な展開 〔講義・実践発表・ワークショップ〕	大阪府教育センター 指導主事等 府立学校教職員
	b コース	6月~12月	同和問題に関する人権学習の実践	
3	1月15日(月) 14:00~17:00		校内で実践を広げるために 〔講義・研究協議〕	大阪府教育庁 指導主事等 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 第1回、第2回bコース 所属校等

第2回aコース、第3回

大阪府教育センター(大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
 JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
 (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 (4) 事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること
 (5) Web開催(オンデマンド開催、リアルタイム開催)の場合、研修対応ポータルサイト内の各研修の個別ページに掲載する実施マニュアルを参照すること。

- 6 担当室 人権教育研究室

個別募集

令和5年度 府立学校人権教育研修A シラバス
(人権教育総論、同和教育)

1 目的

部落差別解消推進法を踏まえ、差別の解消に向けて、同和教育をはじめとする人権教育の現状と課題について理解を深めるとともに、差別をなくす上での学校の役割、同和問題に関する校内研修及び人権学習の在り方についての認識を深め、人権が尊重された学校づくりについて考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期	○			○			○		○				○		○
第2期	○			○			○		○				○		○
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府における人権教育の現状と課題	大阪府の人権教育の現状と課題をふまえ、教職員の人権感覚の向上と各校における同和教育の実践の重要性について理解する。	講義を通して、大阪府の人権教育の現状と課題、及び、府立学校における人権教育の基本方針について認識を深める。	事前課題 全校トップページにおいて別途通知します。
	部落差別の現状と同和教育	同和問題に関する現在の状況について認識を深め、社会にある差別を自分の問題として捉え、解決する力を育む同和教育の在り方について学ぶ。	講演を通して、情報化の進展による差別の状況の変化や、同和問題に関する現状を理解するとともに、同和問題に関する人権学習を各校で実施するための展望を持つ。	
2	aコース 同和問題に関する人権学習の具体的な展開	同和問題に関する人権問題を自らの課題とし、解決できる力を育むなど、自校の人権教育の課題解決に向けて取り組む展望をもち、同和問題に関する人権学習の取組みをどう進めるかを考える。	具体的な教材と実践プランを学び、自校において同和問題に関する人権学習にどう取り組むのかについて具体的に考える。	
	bコース 同和問題に関する人権学習の実践		第1回で学んだことを生かし、同和問題に関する人権学習を所属校で実践し、その成果と課題を実践レポートにまとめる。	
3	校内で実践を広げるために	同和問題に関する人権学習を効果的に進めるために、担当者としての役割を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 講義を通して、校内研修や授業実践について自校の取組みを振り返り、次年度の取組みに展望を持つ。 研究協議を通して、振り返りや分析を深め、自校における次年度の人権教育計画を考える。 	準備物 <ul style="list-style-type: none"> 自校の「令和5年度人権教育実績」詳細は、全校トップページにおいて別途通知します。 実践レポート(第2回bコースのみ)